

なかしゅんべつ

2014
11
No.442



目次

| | |
|------------------|--------------------|
| 中春別酪農振興会秋の収穫祭… 3 | マイコプラズマ乳房炎対策 10～11 |
| 乳牛改良同志会視察研修…5 | 年金友の会… 12～13 |
| 美原かほちゃ品評会…6 | ホルスタイン写真コンテスト…17 |
| 北海道総合畜産共進会… 8～9 | 札幌オータムフェスト2014… 13 |

中春別酪農振興会「秋の収穫祭」が10月8日多くの参加者のもと行われました。「靴飛ばし」競技では、皆さん真剣に自分の靴を飛ばし秋のひとときを楽しみました。



農協法公布 記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔 章



昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が制定され、今年で67年目を迎えました。

戦後の混乱期を背景とした中で、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立されました。

言うまでもなく、農協は「農民による農民のための組織」として発足いたしました。協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立った中で、相互扶助の精神のもと、農協を拠り所として幾多の困難な課題を乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の構築に向けた事業展開を行いながら、今日に至っています。

また、農協法は、時代の変化に即して必要な改正を重ねておりますが、農協の組織・事業を運営する基本法として、重要な位置づけ・役割を担っています。

このような経過の中、現在、規制改革の名のもと、農協組織改革に関し、各般にわたる論議がなされておりますが、農協法公布記念日を契機に、改めて農協が果たす社会的意義と役割について思いをはせ、共通認識を深める必要があります。

かかる状況のもと、JAGグループ北海道はその時々々の農業政策を実践してきたという自負のもと、これまでの事業を再評価し、改めて組合員の皆様の多様な意見を把握するべく組織討議を実施いたしま

した。

これらの取組みをもとに、今般、「JAGグループ北海道改革プラン」実行計画画指針」としてとりまとめ、今後、その内容を踏まえ、JAG・連合会・中央会は具体的な事業展開をはかることとしています。

「組合員の所得向上を通じた持続可能な本道農業の実現」と「農村地域の活性化を通じた豊かな地域社会の実現」をはかるべく、改めてJAGグループが総力を結集し、国民各層の理解と共感を得ながら、改革プランにもとづく事業展開を積極的に推進していくことが重要であります。

新たな動きとして、先般、傘下組合員10億人から成る国際協同組合同盟(ICA)が農協改革に関する声明をまとめました。声明では、「2014年が国連の国際家族農業年として定められている中、今般の日本政府の農協組織改革案は、農家による協同組織の結束と繁栄を脅かすものである」との懸念が示されております。

日本の農協組織に対して、国際的な組織から力強いメッセージが発信されており、自らの組織は自らの意志で運営し発展させていくという信念と覚悟が肝要であるとの思いを新たにしております。

一方、日本の将来に関する重要課題であるTPP交渉については、依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められております。

今後の動向は不透明かつ予断を許さない情勢にあります。農畜産物の関税撤廃のみならず、ルール改定や規制撤廃を通じ、

国民生活に大きな影響を及ぼしかねない危険な交渉であるとの認識に立ち、改めて国会決議の順守を強く求めるとともに、国民理解の醸成に向けた活動を展開していく所存です。

農業・JAGをとりまく情勢は、依然として激動しておりますが、我々の先人達も、英知と力を結集し、その時々々の困難な状況を乗り越えてきました。

いつの時代にあつても共通して言えることは、食料は命に直結するものであり、生活に欠かすことができない極めて重要な位置づけにあるということです。

世界的に見ても、将来、人口増加とともに食料需給の逼迫が現実的な問題となっている中、農業というものを競争原理主義一辺倒で捉えるのではなく、それぞれの国・地域における多様な農業の共存をはかり、持続可能な生命産業としてどう発展させていくかという、大局的な視点で捉えることが極めて重要であります。

我々、農業者・JAGグループは、農業という生命産業に携わっているという責任感と自負心を持ち、併せて、農業・JAGに対する国民の理解と共感を得る不断の努力を行いながら、先代が長年かけて築きあげてきた本道農業並びに農業協同組合の礎をさらに発展させ、後世にしっかりと継承できるように頑張ろうではありませんか。

今後とも、本道農業並びにJAGがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶いたします。

秋の収穫祭

各チーム額に汗して

熱戦を繰り広げました

秋晴れの中、10月8日(火)中春別酪農振興会秋の収穫祭が開催されました。

集合時間が近づくにつれ、中春別地区から続々と集ま



靴を飛ばすタイミングと容量をおぼえ円の中心へ

って来ると、「今年は負けないから」と昨年の競技順位の話しや、子供の話などで会場は大賑わいの中、収穫祭が始まりました。

昨年は、農協周辺工事のため2年ぶりでの農協グラウンドの開催となりました。

今年も収穫祭で、地区対抗3種目競技が行われ、豪華景品をかけて各地区の激闘を繰り広げました。

最初の競技は、靴を白線の円の中心を目指して蹴る「靴飛ばし」が始まり、1人目は感覚が分からず、円から大きくはずれる人が続出しましたが、2人目からは急に精度が上がり、中心に届く人が続出、同じ地区の仲間から歓声が上がりました。次の種目は「生乳日本一」で、バケツからコップに汲んだ白い水を10m先の一升ビン



「生乳日本一」ゲームでは慎重に、そして速く

に満タンになるまでリレーをする競技や、拾った玉ねぎの重さを競う「玉ねぎ拾いリレー」などが行われ、競技が終わる頃には息が切れ、額に汗を浮かべ疲労困憊の様子でしたが、皆さん笑顔が溢れ、また、一段と絆が深まったのではないのでしょうか。

最後は、競技の順位ごとに豪華景品を仲間に分け、昼食は焼肉を囲み健闘を称えました。



昼食は仲間と一緒に美味しいお肉を囲んで話も弾みました



「玉ねぎ広いリレー」は見た目より意外ときつく、皆さん汗を流しながら疲労困憊となりました



豪華な景品は皆さんと分け合いました



詰めた玉ねぎの重さは？

家庭でも手軽に作れる料理に挑戦!

中標津町の「オステリアフェリーチエ」さんにて、女性部で料理教室を10月8日行い、「標津産サーモンのカルパッチョ」「秋刀魚と焼きネギのスパゲッティ」「ペンネのアマトリチャーナ風」を作りました。カルパッチョのトッピングのチーズには中春別産のものを使用するなど、身近なところで酪農の繋がりを感じた瞬間でした。



家庭用にアレンジした料理に挑戦中!

最初にフェリーチエの料理長でもある両角さんから作り方を一通り教えていただき、その後3班に分かれパスタとサラダをそれぞれ作ったのですが、フライパンを

煽るなどの作業は器具がなかなか重いため一苦労、両角さんの華麗な手さばきに歓声があがりました。

今回は家庭でも作りやすく、材料や工程などをアレンジしていただいたため、部員からも「家でも作ってみようかな」との声が出ておりました。

今回はスモークした秋刀魚をパスタに使用したのですが、家庭でも簡単にスモークを作れる方法を教えていただくこともできました。

チーズなど火を通したくないものは、蒸し器に入れる際に上と下を氷(匂いが移ってしまい再利用はできないため、フェリーチエさんでは袋に入れた氷を使用していました)で挟むと、火を通すことなく匂いだけ移すことができるという事を教えていただき、家庭では難しいと思われた燻製も「これなら作れそう」と話す部員の皆さん。

ランチの間をお休みして、講師の依頼を受けて下さった両角さんありがとうございました。



お楽しみの試食の時、これで料理の幅も広がりました

「おいしい!」と大好評! 昼過ぎには完売しました

Aコープ収穫祭



女性部では乳製品を使った料理やフリーマーケットなどを即売しました

10月21日(火)、Aコープ前にて収穫祭が開催され、青年部からは和んバーグの試食販売、女性部からは乳製品を使った料理の無料配布、フリーマーケット、べっかい乳業興社製品の即売を行いました。

前日までの天気予報は雨だったため開催が危ぶまれましたが、予報がはずれ当日は肌寒い曇り空でしたが開催することができました。

収穫祭が始まると、毎年恒例の「パケツみかんすくい」にお客さんが集中、みかんの入ったワゴンがお客さんで見えなくなるほどでした。



青年部試食和んバーグは大好評!

女性部の乳製品を使った料理の無料配布では、温かいクリームシチューが来場したお客さんに振舞われ、秋風で冷えた体を温めました。

今年も大盛況の中、無事収穫祭を終了いたしました。



大久保大輔牧場にて



牛舎にて大久保氏から説明を受ける参加者達

少ない労働力で320頭飼養、牛飼いの熱意と誇りを感じた大久保牧場

平成26年度中春別乳牛改良同志会視察研修が10月13日～15日の日程で行われました。

1日目 は、清水町の大久保大輔牧場を視察させていただきました。

大久保牧場は総頭数320頭(搾乳牛100頭)を飼

養しており、草地面積は115ha(牧草100haデントコーン15ha)で乾草ローンを主体としており、乳量は一頭当たり約9500kg、年間出荷乳量約1000tだそうです。

現在の作業体系は、3代目であります経営主の大輔氏と父と母の3人で作業が行われており、平成19年に

育成牛は200頭ほどいて、年間約40頭の育成牛を導入し更新牛は約20頭、未經産牛の個体販売で約80頭売却するそうです。自家更新牛には判別精液、販売牛には黒毛和種受精卵や黒毛和種(F1)を受精させているそうです。

現在使用している精液の種雄牛は、アトウッド・フィバー・シド・ブラクストン・アバロンなどを使用しているそうです。

3人の労働力でありながら320頭を飼養する大輔氏の牛飼いに対する熱意と

新たな可能性を提案

2日目 は、1912年創業以来、100年以上

国産の農業機械メーカーとして農業機械を製造する、株式会社タカキタにて、札幌工場、札幌営業所を視察しました。

到着し最初に、平成13年に増設された工場を見学しました。札幌工場では年間1500台から2000台の作業機を製造して、工場内はちょうどスノープロアーの製造が行われており、1日15台ほどのスノープロアーを組み上げるそうです。

また、コンピュータ制御の全自動レーザー切断機や、自動溶接機などのオートメーション製造機の利用とともに作業動線の考慮によつて、少ない人数でも作業効率があがるように工夫がなされ



株式会社タカキタにて工場内を視察



今年も丹精込めて こ～んな大きなかぼちゃができました!



今年も愛情いっぱい育てた「かぼちゃ」を持ち寄りました

10月18日(土)秋晴れの下、美原ゆうゆうホールにてかぼちゃの品評会が行われました。参加者は丹精こめて作ったカボチャを持ち寄り「うちのかぼちゃの方が大きいな」と品評会が始まる前から順位の予想をして開会までの時間をすごしました。今年のかぼちゃのサイズも大きく車から



今年は僕も
手伝ったので
みんなには
負けないぞ〜!

3人でやっと運べるほどの大きなカボチャがたくさん出品され、集まった人から「どうしてこんなに大きく育てることのできるの」などの話で盛り上がり、出品者同士では生育方法のコツなど聞いて来



計量が終わった後は焼肉を囲んで「どうやったらこんなに大きく育つの?」と情報収集

年に向けての情報交換が行われておりました。かぼちゃの品評会の前に、参加者全員で開拓の碑を参拝し、

焼肉を食べながら日頃の近況などを話したりと、秋の味覚を堪能しながら交流を深めました。かぼちゃの計量が始まると、焼肉を食べていた手を止め計量の結果が発表されるたびに「おくてカイ」と歓声が上がリ、会場は大盛り上がりの中カボチャの品評会が終了しました。かぼちゃの品評会の結果は以下の通りです。

- 第1位 長沼牧場 90・5 kg
- 第2位 畠山牧場 90 kg
- 第3位 小林牧場 89 kg
- 第4位 山口牧場 88 kg
- 第5位 服部牧場 88 kg



中春別小学校

学芸会

子供達の可愛らしい姿に 思わずにつこり!

10月19日(日)中春別小学校学芸会が開催されました。

当日は朝早くから子供の撮影場所確保のため、体育館前には敷物を持ったお父さん、お母さんで列ができていました。

高める目的として演劇を中心とした学芸会となりました。

開催のアナウンスが流れ

今年から、小学校の学芸会は午前中のみ開催となり、各学年の出し物については、子供達の表現力や発言力を



可愛らしい演劇に見ている人も思わずにつこり



ると、緊張しながらも一所懸命に始めの挨拶が行われ、幕が明けました。

始めは、全校生徒による迫力ある演奏で学芸会がスタートしました。

各学年の演劇では、緊張した1年生の可愛らしい姿が見ている観客もにつこりと笑みがこぼれ、6年生の演劇では大きな身振り、大きな声でのセリフに最上級生としての貫禄を感じることができました。

閉会の挨拶が終わると、緊張から開放され子供達が、お父さん、お母さんに駆け寄り「どおだった?」とご満悦の様子でした。



練習のいかにもあり子供達の表現力は素晴らしいものでした



来年の全共を控え、 この上ない好成績

9月27日(土)、28日(日)勇払郡安平町早来北海道ホルスタイン共進会場において今年度のショウリングの総決算、第16回北海道総合畜産共進会が行われました。

全道より激戦を勝ち抜いた392頭(根室管内58頭)の精鋭が覇を競い合いその中で昨年に引き続き今年も中春別ホルスタインは、根室管内最高位となる1等賞3席に第7部「YMD チュンキー アイオーン ルツクス」山田博和さん出品、第13部「ライブリー K ジヤスパー リル ET」山田晃嗣さん出品、第14部「FR マツヨ リヴエレスト」浮川優さん出品の3頭が入り、第7部「ライブリース ポツテイ マダー」山田晃嗣さん出品が2等賞1席、第13部「プレステージ ラスト チャンス」久保光大さん出品も2等賞8席と出品された5頭全てが入賞と

素晴らしい成績を収めました。また審査には、日頃体型審査・調査でお世話になっている北海道ホルスタイン農業協同組合 審査部部长 千葉義博氏がオフィシャル・ジャッジを、審査部次長 小泉俊裕氏がアソシエイト・ジャッジを務める確でスピーディーなジャッジは素晴らしい審査は滞りなく進みました。

今年のショウリングは終わりを迎え来年に全共を控えた中、この上ない成績を収めた中春別ホルスタインは束の間の休息に入ります。来年のショウリングでのさらなる活躍、そして全共出品を願いたいと思います。



第14部 5歳クラス 1等賞3席(ベストプロダクション)
FR マツヨ リヴエレスト



第7部 後代検定娘牛2歳クラス 1等賞3席
YMD チュンキー アイオーン ルツクス



第14部 左から1等賞1席、1等賞2席、1等賞3席の乳房

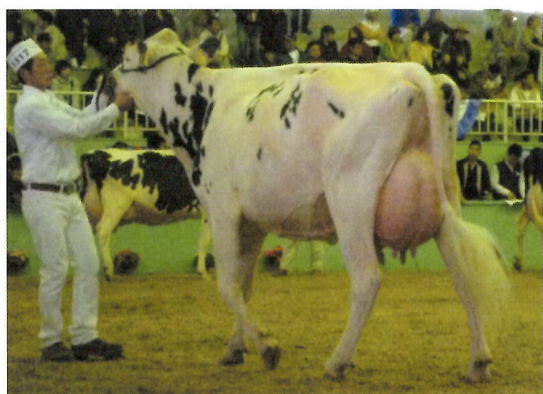


第13部 4歳クラス 1等賞3席
ライブリー K ジヤスパー リル ET

第16回 北海道総合畜産共進会

| 部 | 成績 | 名 号 | 父 牛 | 出品者 |
|----|-------------|----------------------|---------------------|-------|
| 7 | 1等賞3席 | YMD チュンキー アイオーン ルツクス | ミッドフィールド CCM アイオーン | 山田 博和 |
| 7 | 2等賞1席 | ライプリー スポツテイー マダー | ライプリー ハヤ マダー | 山田 晃嗣 |
| 13 | 1等賞3席 | ライプリー K ジヤスパー リル ET | ウイルコツクスビュー ジヤスパー ET | 山田 晃嗣 |
| 13 | 2等賞8席 | プレステージ ラスト チャンス ET | マコンバー オーマン ボガード | 久保 光大 |
| 14 | 1等賞3席 BP | FR マツヨ リヴェレスト | コムスター リヴェレスト ET | 浮川 優 |

| | 名 号 | 父 牛 | 出品者 |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| グランドチャンピオン | KWF サンチェリア ダーハム ビュー | ジェンマーク ストーマテイツク サンチェス | 釧路市 榎敬和ファーム |
| リザーブ・グランド チャンピオン | オークリーフ サラ FBI | ジレット プライリー エフ ビー アイ ET | 津別町 柏葉 俊 |
| シニアチャンピオン | KWF サンチェリア ダーハム ビュー | ジェンマーク ストーマテイツク サンチェス | 釧路市 榎敬和ファーム |
| リザーブ・シニア チャンピオン | オークリーフ サラ FBI | ジレット プライリー エフ ビー アイ ET | 津別町 柏葉 俊 |
| インターミディエイト チャンピオン | TLM GO ウイン トリニテイ ET | ブレイデル ゴールドウイン | 帯広市 十勝ライブストック マネージメント |
| リザーブ・インターミディエイト チャンピオン | TMF セジス イルミナ ダミオン デユーク | アーバクレスト ダミオン | 岩見沢市 榎瀬能牧場 |
| ジュニア・チャンピオン | TMF ナテイル アツト アンナ エコー | メーブルダウンズアイ GW アツトウッド ET | 清水町 侑田中牧場 |
| リザーブ・ジュニア チャンピオン | ロイヤルランド ジューデイ スター アイオーン | ミッドフィールド CCM アイオーン | 大樹町 木村 達也 |



第13部 4歳クラス 2等賞8席
プレステージ ラスト チャンス ET



審査員 右から
オフィシャル・ジャッジ
千葉 義博氏
アソシエイト・ジャッジ
小泉 俊裕氏



第7部 後代検定娘牛2歳クラス 2等賞1席
ライプリー スポツテイー マダー



お知らせ

根室管内における マイコプラズマ乳房炎対策

根室管内マイコプラズマ乳房炎対策会議

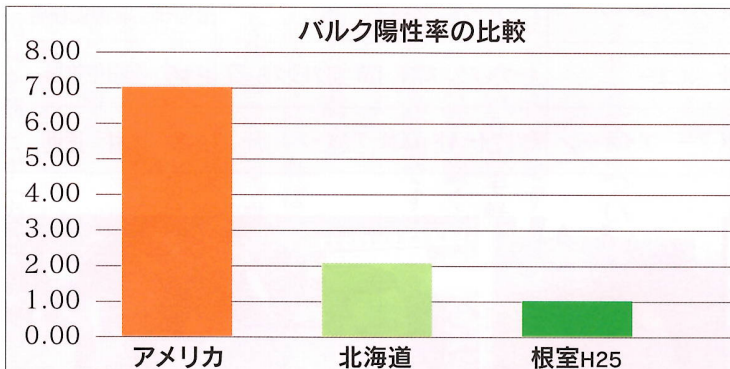
【これまで（平成23年以降）の傾向】

- ① 飼養規模、搾乳形態に係らずに発見されている
 - ② 全ての農協で発見されている（過去4カ年からの調査結果）
 - ③ 早期発見、早期対処により、「治療の可能性」が見えてきた
（感染初期であれば、投薬効果が期待できる場合もある）
- 【26年度の記録から見える現況】
- ① 根室管内のバルク乳陽性率は、道内でも低くコントロールされている
 - ② バルク乳からも、臨床からも、マイコプラズマ感染牛が見つかっている

平成26年度の対処記録（情報提供された分のみ。一部、概算値を使用）

| | 対処開始 | 搾乳頭数規模 | 陽性頭数 | 主な菌種 | 治療頭数 | 淘汰頭数 | その後 |
|-----------|--------|--------|------|-----------|------|------|-------------|
| バルク検査での発見 | H26.5月 | 99以下 | 15 | ボビス | 1 | 14 | 毎月のバルク検査中 |
| | H26.5月 | 99以下 | 3 | ボビス | | 3 | 年間検査サイクルへ復帰 |
| | H26.5月 | 99以下 | 1 | ボビス | | 1 | 毎月のバルク検査中 |
| | H26.5月 | 100以上 | 3 | ボビス | | 3 | 毎月のバルク検査中 |
| | H26.5月 | 99以下 | 2 | ボビス | | 2 | 毎月のバルク検査中 |
| | H26.5月 | 100以上 | 1 | カリフォルニカム | | 1 | 毎月のバルク検査中 |
| 臨床での発見 | H26.5月 | 100以上 | 3 | ボビス | | 2 | 牛群監視中 |
| | H26.5月 | 200以上 | 15 | カリフォルニカム | 34 | 8 | 対処中 |
| | H26.5月 | 100以上 | 3 | ボビス | | 3 | 牛群監視中 |
| | H26.5月 | 99以下 | 1 | ボビジェニタリウム | | 1 | 対処中 |

バルク陽性率の比較



| | アメリカ | 北海道 | 根室 H25 | 根室 H26 |
|--------|-------|-------|--------|--------|
| バルク陽性率 | 7.00% | 2.20% | 0.97% | 0.49% |
| | 注1 | 注2 | 注3 | 注4 |

注1: ラリー・フォックス教授 2013/11/13 JA全農セミナー資料より引用 (2002年 NAHMS調べ)
 注2: 樋口教授 2014/2/27 中標津町主催セミナー資料より引用
 注3: 根室管内全戸実績 平成25年度(2013年度)
 ※アメリカと北海道の数値は、グラフから読み取ったおおよその数値です。

- ① 「陽性牛の状況」を判断する
 【個体への対処の注意点（最重要）】
 態と「検査結果」の両方から、陽性牛への処置を判断する
- ② 獣医師の見解を、JAと

たくさんの牛が我が家に帰宅

中春別共和牧場 下牧

10月18日、共和育成牧場にて育成されていた牛の下牧が行われ、今年の春に入牧された牛たちが共和育成牧場で約5カ月飼育され、入牧当初やんちゃだった牛たちも立派に育ち、それぞれの牧場へと帰って行きました。下牧のため集められた牛たちは、迎え

にきた家畜車に手際よく乗せられていましたが、中には広い草地を離れるのが嫌なのか、作業を手こずらせる牛もいました。家畜車から家路への風景をみつめ帰っていく牛の姿を皆で送り出し、下牧終了となりました。ひとまわりもふたまわりも大きくなった牛たちは、飼い主の元でこれから力強い妊娠牛として成長することと思います。



畜主が共に聞いて判断する（協議する）

③ 個体への対処時は、「獣医師、畜主、JAの3者での協議」が最良

④ 3者が合意した結果にて、処置を進めるのが基本（互いに協力する）

【個体検査結果「陽性」の意味】

① その個体から検出された

② ただし、その個体が「発症している」とは限らない

③ 発症しているかは、個体を見なければ判別できない（見ても判別不可能な場合もありうる）

④ 検査結果と個体の状態に疑問があれば、「再検査」、「検査結果が出るまで隔離」という選択肢もありうる

【バルク乳検査のメリット（バルク乳検査の意義）】

① 牛群の監視を定期的に実施できる

② 感染初期、発症前の個体を発見できる可能性がある

る

③ 症状の軽い排菌牛（無症状の牛など）を発見できる可能性が高まる

【バルク乳検査の弱点】

① 年間検査サイクルの隙間で、新たに感染や発症してしまう可能性が残る

② 飼養頭数が多い牧場では、年間検査サイクルを早く（多く）したいが検査費

負担の問題が発生する

③ 排菌数が少ない個体だと、バルク乳から菌を拾えない場合もある（バルク内で、菌数が薄くなる）

【教訓】

① 100%の検査方法は存在しないが、検査を継続（牛群監視）することが重要

② 自分の牛群は、自分で監視する（自分で守る）

視する（自分で守る）

③ 衛生管理のポイント（かなめ）を守る↓牧場内の蔓延防止策

④ 畜主（家族、従業員）が不明な点は、獣医師やJA職員へ相談する

⑤ 地域全体で協力する（互いにフォローする）

⑥ 可能な限り、情報を共有する（情報が無いと対策を決められない）

根室管内での検査などの流れ(概要)

- ①バルク乳を定期的に検査する(年間4回~6回)
- ②バルク乳が陽性になったら、バルク乳の菌腫を判定する
- ③菌種により、牛群の全頭(同居牛)検査を判断(協議)する
- ④陽性牛の状態と検査結果(菌種)により、処置を開始する
- ⑤陽性牛への処置と平行して、個体検査やバルク乳検査などを繰り返す(獣医師との相談で詳細は異なる)
- ⑥獣医師からの見解を基に、①の検査サイクルへ復帰する

より詳しい情報は、この資料をご覧ください

地域の関係者が協力してこの病気へ対処しましょう！
そして、
乳牛の損耗を減少させましょう！

マイコプラズマから農場を守るために！
～今、すぐに農場でできることは？～

1 マイコプラズマ乳房炎の感染状況

マイコプラズマ乳房炎は、近世世界的に問題となっており、感染が早く、発症中の治療が難しい病気でもあります。

日本国内のバルク乳検査率は海外国と比較して低く、拡大する。増加した感染源が増加している北海道(根室を含む)では、「農場内における蔓延防止対策」の構築が必要である。

飼養頭数の多い農場における蔓延防止対策が特に重要で「今、すぐできること」を情報共有して、自分の農場を守りましょう

右の写真は、マイコプラズマを顕微鏡で撮影して育てたコロニー(集落)の写真を示しています。左側は短くマダラした集落、右側は円形でよりよく見える程度の大きな集落です。右は実体顕微鏡で撮影した写真です。一般的には白玉色の短くコロニーになります。 (根室市 根室支庁)

2 根室管内におけるマイコプラズマ検査体制と対処例

根室管内では、平成25年度から全農協にて定期的なバルク乳スクリーニング検査を実施しています。

1) 検査結果毎の対応 (平成25年5月~26年3月)

バルク乳陽性以降の対応例

① バルク乳の菌種判定検査 (牛群の感染源の特定)

② 菌種に基づき、全頭検査を実施 (陽性、疑陽性の特定)

③ 畜主と獣医師との協議して、個体への対応を行う (隔離、治療、検査結果、または再検査)

④ 陽性牛への対応が完了したら、バルク乳検査を一定期間継続する (感染源の追跡)

⑤ 上記のバルク乳検査が完了したら、通常の検査サイクルに復帰する

特別(自主的)な検査の相談は、NOSAIやJAへ!

12月1日(月)は個人事業税・第2期の納期限です

納税通知書が届いた方は、忘れずに納期限までに納めましょう。
詳しくは、根室振興局税務課までお問い合わせください

●お問い合わせ先

根室振興局税務課

〒087-8588 根室市常盤町3丁目28番地

課税に関すること(課税係)0153-24-5479 納税に関すること(納税係)0153-24-5466

早朝より空港に集まり、21人の会員と共に9月29日(月)10月1日(水)にかけて年金友の会(高橋昌晴会長)の秋季旅行で小樽へ行ってきました。

1日目 小樽運河・おたる水族館で楽しいひととき

晴天に恵まれた中でのスタート。季節外れの暖かさに心地よさを感じながらの小樽運河を散策。1時間ほど満喫した後はおたる水族館へ。普段見る機会がないということもあり、パフォー

ンスショーでは一同終始盛り上がりを見せました。その後は今日の宿泊先の朝里川温泉の武蔵亭へ行き、夕食では美味しい料理に箸がすすみ、2次会ではカラオケで盛り上がり旅行を満喫。

2日目 「マツサン」の舞台 ニツカウチスキーを視察

昨日の天気とは一転してあいにくの雨模様でのスタート。朝の連続テレビ小説「マツサン」の舞台でもあるニツカウチスキー余市蒸留所へ。ウイスキーの歴史について学び、試飲と若干ほろ酔い状態に。その後はくだもの狩りへ山本観光果樹園へ。リング、ぶどうと、かこに収ま

ました。

最終日

北海道開拓村で歴史を学ぶ

最終日ということもあり疲れが見えてくる頃かと思いましたがまだまだ元気な一同。この日は白い恋人パークへ行き帰りのお土産の買い物。その後は北海道開拓村へと行き北海道の歴史についての学びました。

秋の小樽をまるごと満喫

りきらな
いほどの
収穫にそ
の場で多
少減らし

たりと満喫した後に昼食を食べ小樽から札幌へ。札幌もいわ山ロープウェイに乗り札幌市内を一望し本日最後の円山動物園へ。しかし今日一番の雨にあたり動物たちすべてを見るということはありませんでした2日目も充実した1日となり

皆さまのご協力で無事秋季旅行を終えることができたことに感謝しております。今回は21人とたくさんの方に参加していただいたことに年金友の会事務局としても大変うれしく思います。次回もたくさん参加お待ちしております。



冬の訪れを感じながら、パークゴルフ ゲートボールで交流!!

年金友の会(高橋昌晴会長)では、秋季スポーツ交流会を
10月21日(火)、会員40人参加のもと行いました。



パークゴルフは豊原を会場に、「今年は、雪早いのでは？」との声が聞こえる中、交流会はスタートしました。寒さを感じながらも、和気あいあい18ホールを回っていました(朝早くから、落ち葉拾い等のコース管理していただいた豊原の皆様ありがとうございます)。

ゲートボールは、年々参加者は減っていますが、2チームで交流を深めました(塩屋さん、まとも役ありがとうございました)。

素晴らしい一言!

なかなか、最近、外へ出る機会が減ったけど、この様な交流会に来ると、仲間に会えて楽しいよ!(事務局感激)。

年金友の会行事も、11月開催のお楽しみ会を残すのみとなりましたが、体調管理には気



を付け、多くの参加をお待ちしています。

パークゴルフ成績

「男子の部」

優勝 寺澤昭一
準優勝 中村与之進

「女子の部」

優勝 富永フクエ
準優勝 金子ケイ



Let's Try 石灰乳塗布

① 石灰塗布の効果

冬に向かって日の長さが徐々に短くなっています。「牛舎が暗い…」と感じている方はいませんか？
 また寒くなってくると「子牛の下痢が増える…」と感じている方はいませんか？
 実際に、夏の温かい時期に比べ冬に向かって子牛の下痢の発症件数は多くなる傾向にあります。
 これら二つの対策として「石灰乳塗布」をやってみませんか。



写真1 用意するもの

② 塗る面の表面についていた汚れを落とす(表紙などで覆う)。

③ 石灰を棒で混ぜながら水に溶かし石灰乳を作る(ドロドロしすぎると乾燥後

④ ハケやブラシを使って塗る。

方法
 牛舎内の石灰乳塗布は機械を使うのが一般的ですが、手作業でも行うことができます(機械による塗布は、家畜自営防疫対策協議会や農協等にお問い合わせ下さい)。

※ドロマイト石灰について
 水を加えても発熱せず、ダマになりにくいいため手軽に使えます。付着性も強く、初めて行う方にも好適です。

面の汚れを落とすと粘着性が向上します)。

石灰塗布後の牛舎は明るく衛生的で、牛だけでなく作業する人にも気持ち良くもたります(写真3)。

カーフハッチへの石灰塗布は、下痢対策として知られています。
 石灰は強アルカリ性であるため消毒効果があり、また同時に菌を封じ込めるといふ効果も期待できます。
 ② 牛舎が明るくなる
 牛舎が明るくなることにより、搾乳時、乳頭に付着した汚れが発見しやすくなったり、飼槽掃除や給餌がしやすいなど、作業の効率と質の向上が期待できます。

△用意するもの△(写真1)
 ・ドロマイト石灰※
 ・ペンキ塗り用のハケやブラシ
 ・バケツ(使い古しのドラム缶、ドロマイト系ならポリバケツでも可)
 ・混ぜるための棒
 ・ほうき等掃除用具
 ・ゴーグル、マスク、厚手のゴム手袋
 ・目に入ったり、吸い込んだり、皮膚等に直接触れないため)



写真3 石灰乳塗布前後の変化



写真2 手順

性なので、牛床に直接使用することは不適当です。乳頭が荒れる原因となります(通路や農場出入り口などに散布して下さい)。
 ※生石灰を使う場合は発熱しますので、温度が下が



根室管内JA合同プロジェクト

JA標津・JA中標津・
JAけねべつ・JA中春別・
JA道東あさひ

取扱期間 平成26年

11月4日(火) 12月30日(火)

根室管内JAでは
「ドローン貯冬のキャンペーン」に加え

金利上乗せ 定期貯金

預入期間 **1年**
店頭表示金利
+年0.10%

預入期間 **3年**
店頭表示金利
+年0.15%

預入期間 **5年**
店頭表示金利
+年0.25%

※自動継続後の金利は継続日における店頭表示金利を適用します。

預入条件 ■対象貯金/スーパー定期貯金及び大口定期貯金 ■預入金額/20万円以上(新規預入・増額書替)
■預入期間/1年以上 ■対象者/個人の方に限ります

定期積金

契約期間 **1年以上**
店頭表示金利
+年0.10%

預入条件
■対象者/個人の方に限ります
■給付契約額/24万円以上
■契約期間/1年以上

※全JAの統一金利ではありません。実際の適用金利は各JAにお尋ねください。 ※中途解約された場合、各JA所定の中途解約利率が適用されます。

●詳しいお問い合わせは、下記JAの窓口にお尋ね下さい。●

JA標津 ☎0153-85-2121
JA中標津 ☎0153-72-2907
JAけねべつ ☎0153-78-2111
JA中春別 ☎0153-76-2314

JA道東あさひ 本所 ☎0153-75-2204
上春別支所 ☎0153-75-6001
西春別支所 ☎0153-77-2031
根室支所 ☎0153-22-2121





うれしさ、
もりもり、
てんこ盛り！

ドドン貯

北海道の
おいしさ

冬のキャンペーン

キャンペーン応募期間

11/4 火 ▶ 12/30 火

全道合計

5,000
名様に
当たる!

期間中、定期貯金・定期積金に一定条件で
お預入のお客様に、抽選で北海道のおいしさを
ドドンとプレゼント!



A賞
100名様



- ゆめびりか
- ななつぼし
- ふっくりんこ
- おぼろづき
- ほしのゆめ
- きたくりん

※写真はイメージです

各20kg

ドドンと! 満腹!
北のこだわり銘柄米

2俵
(120kg相当)

つや、粘り、甘み、どれをとってもおいしい
特Aランクのゆめびりかなど、
人気の道産米6種をドドンとプレゼント。
ご家庭で食べくらべをお楽しみください。

ドドンと! 選べる!

北の地元味
セレクト



B賞
300名様

※写真はイメージです
新鮮な農畜産物から、匠の技が光る加工品まで、全道のJAから選りすぐった特産品が大集合。
逸品の数々からお好きな4品をお選びいただけます。

W
チャンス
4,600名様

北のおたのしみ

A賞・B賞の抽選にはずれてもチャンス!
北の地元味セレクトから、オススメの1品をプレゼントします。

プレゼント応募条件 対象商品(受入条件)

定期貯金
(1年以上)
(新規または増額20万円以上)

定期積金
(1年以上)
(契約額24万円以上)

- 対象者/個人の方に限ります。
- 抽選の権利/定期貯金(1契約20万円につき1口)・定期積金(1契約24万円ごとに1口)
※お一人様何口でも応募可能です。*増額蓄積の場合は、増額分のみ対象。
- 当選発表/商品のお届けを持って代えさせていただきます。(抽選は平成27年1月下旬予定)
- 応募方法/窓口でお渡しする応募用紙に必要事項を記入し、窓口へお持ちください。

- 【ご注意事項】
- ※当選後の権利の譲渡、商品の交換・換金には応じられません。
 - ※今回預入された定期貯金または定期積金を中途解約された場合は当選の権利を失います。



第29回 未経産クラス

ホルスタイン写真 コンテスト

中春別乳牛改良同志会（竹田潤会長）では、毎年好評であります「ホルスタイン写真コンテスト（未

経産クラス）」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

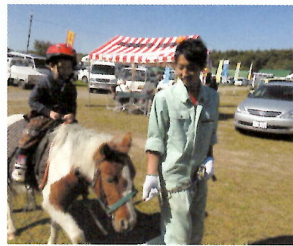
1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号（A～F）を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課（畜産指導係FAX76-3006）または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、11月30日となっておりますので期日厳守にて応募して下さい。



●【経営科・専攻科】産業祭に参加

9月20日(土)、21日(日)の2日間にわたって行われた別海町産業祭に、酪農経営科は“牛乳料理の無料配布”と本校で生産した野菜や加工品の販売、イベントの手伝いを実施。農業特別専攻科では“搾乳体験”と専攻科の紹介を実施しました。

今年は天候に恵まれ参加した生徒は、販売活動やイベントにも積極的に参加していました。とくに、今年はチーズフェスティバルが大きく開催され、本校の生徒も多数お手伝いをさせていただきました。また、当日は日頃から食育活動として交流活動に参加している別海中央小学校の児童が販売活動の体験も行いました。児童も生徒もそれぞれの生徒が日ごろお世話になっている地域への感謝の気持ちを忘れず積極的に取り組みました。



●【経営科】別海マルシェに参加!

9月8日(日)に別海町観光協会の主催で開催された「別海マルシェ」に参加しました。別海町の職をアピールする本イベントに農産物の販売という形で参加させていただきました。本校の農産物は開始40分で売り切れとなるほど好評でした。今後もこのような町を挙げてのイベントに積極的に関わっていきます。



●【経営科】ふれあい農園実施!

10月2日(木)、くるみ幼稚園児との交流会が本校で開催されました。好天に恵まれ数年ぶりにイモ掘りを予定通り実施できました。春に植え付けたジャガイモを掘あげると園児からたくさん歓声が上がっていました。「幼稚園の時に体験した」という高校生もいて、懐かしさと自分の成長を振り返りながら楽しく園児と活動しました。その後用意したジャガイモと一緒に、美味しく試食しました。また、交流会の中では、高校からは「ポテトマンショー」。くるみ幼稚園からは「オドレンジャー体操」が披露されました。



●育成センター実習【経営科】実施

9月16日(火)より18日までの3日間JA道東あさひさんの哺育育成センターで実習をさせていただきました。酪農経営科の立ち上げ時より継続してお世話になっています。今年度も1年生17人が本センターでの実習を経験しました。実習の当日は牧場の責任者である菊地さんより牧場での子牛の受入から預託農家さんへ戻すまでの一連の工程を学習させていただいた後、実際に哺育牛から育成牛までの管理作業を体験させていただきました。多くの生徒が学校では体験することのできない貴重な実習の機会として有意義に実習に取り組みました。



●【専攻科】酪農技術現地研修会実施

10月8日(水)から10日(金)までの3日間、酪農技術現地研修会を実施しました。

今回の研修では、1日目に音更町の家畜改良センター十勝牧場を視察しました。乳用牛や原種馬、肉用牛やめん羊の改良業務を、各担当の方より詳しく教えていただきました。2日目はM・S・K農機、町村農場などを視察しました。M・S・K農機では、英国製マッセイ・ファーガソントラクターやクーン(フランス)社製牧草関係機械、クラス(ドイツ)社製コンバイン及び牧草収穫用機械などの販売までの様子を詳しく視察しました。町村農場では、町村均氏より、農場を見て回りながら各部門のご説明をいただき、生乳生産から乳加工品製造までのこだわりある生産ラインの様子がよくわかりました。最終日は雪印種苗北海道研究農場を視察しました。ここでは、牧草見本園で現在の主力品種の特徴や各牧草と雑草の見分け方について説明を受けました。

参加した学生の皆さんからは、「各企業や農場のこだわりと仕事に対する熱意を感じた。」「土地や気候は異なるが、気づかされる所も多く、繋がっている所もあり、今回の研修で学んだ点を大切にしていきたい。」といった声が聞かれました。

自分の住んでいる地域を離れて、それぞれの専門性を高めると共に、酪農人としての幅を広げる研修会となりました。



輸入部品の組み立て
(M・S・K農機)



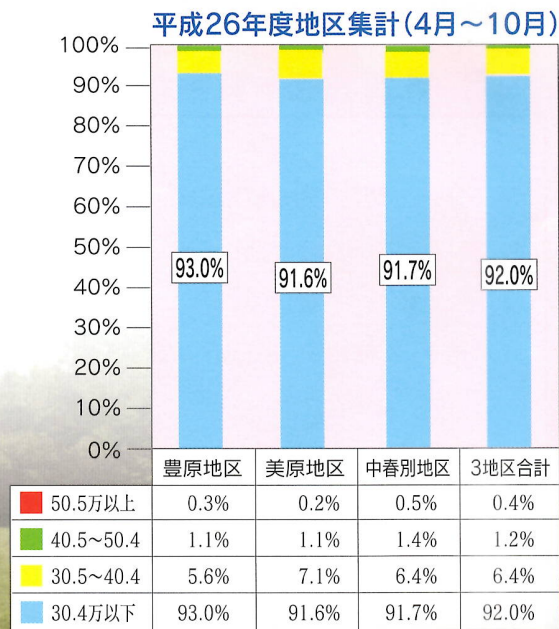
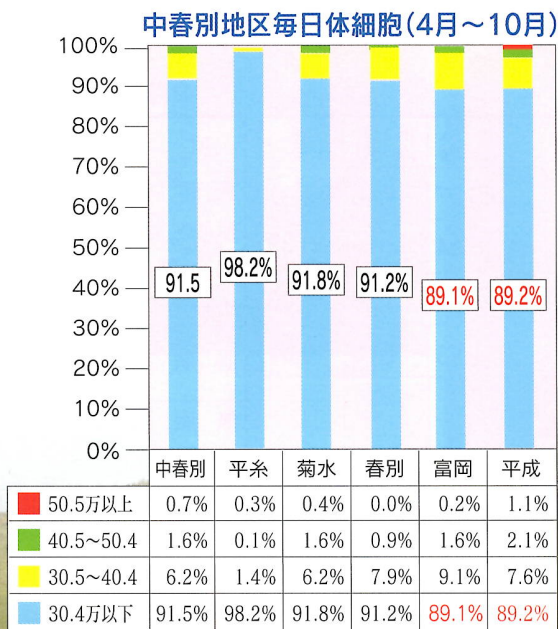
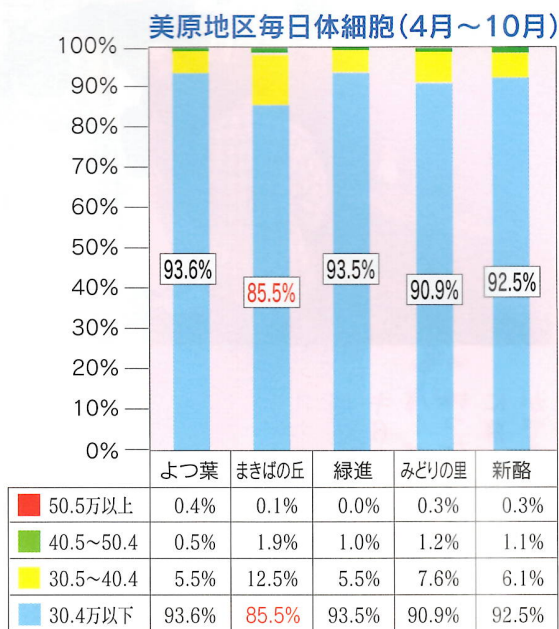
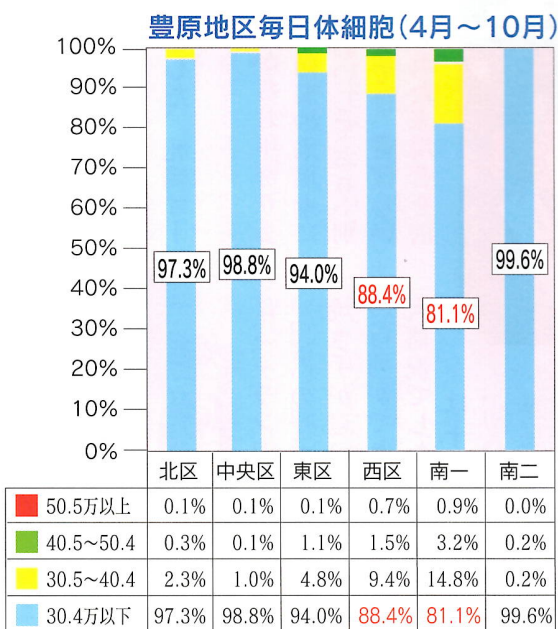
町村氏からの説明
(町村農場)



生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では4件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故… JA中春別発生件数 0件 管内合計では3件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

バケツミルカーは洗われてますか？
きれいに洗浄されたバケツミルカーできれいに搾った
初乳をあげよう。
(子牛の下痢の要因の一つです。)



今年も過去最高の 200万9000人が来場

9月12日～28日の17日間、札幌大通公園4丁目会場から8丁目会場それぞれ「生産者・料理人・消費者」の顔が見える「北海道の食」をメインテーマとした、札幌オータムフェストが開催されました。

今年も6回目となる当イベントも過去最高の200万人の来場者となり、道外より観光客が多数来場する一大イベントとなりました。

ちびっこからお年寄りまで幅広い年齢層の来場者により大賑わいしており、別海町ブースでは、香ばしい香りにつられた来場者を前に、ベテランの焼き手と元気

に、ベテランの焼き手と元気いっばいの呼子の成果もあり、焼き手が追い付かないほどの行列ができるなど、連日大盛況でした。来場者からは「初めて乳ホタ餃子を食べたけどモチモチしておいしいかったー」などと嬉しいコメントが多数。お家のお土産に持って帰る方や、何度も並んでいただいた方も多数見受けられました。

8丁目会場では、道内の100を超える市町村が自慢の特産品をその場で調理販売や手問ひまかけた加工品などを提供し、週替わりで出店者を入れ替えしながら行いました。



今回の出店では乳ホタ餃子3000個、牛サイコロステーキ650kg、チーズバーグ600個、といった大盛況のうち幕を閉じることができました。

9月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

| | | | 単価 | 算出基礎 | 支乳 | 前同 | 年 | 差 |
|----------|------|------|---------|-----------------|-------|-------|------|------|
| | | | | | 価 | 期 | 期 | |
| 乳脂肪分 | | | 871.724 | | 33.77 | 31.46 | | 2.31 |
| 無脂乳固形分 | | | 551.596 | | 48.24 | 44.85 | | 3.39 |
| 補給金 | | | 3.3571 | | 3.36 | 3.36 | | 0.00 |
| 計画チーズ奨励金 | | | 1.8469 | | 1.85 | 1.78 | | 0.07 |
| 乳質単価 | 生菌数 | ランク1 | 2 | 295,323,201.3kg | 3.63 | 3.60 | 0.06 | |
| | | ランク2 | 0 | 5,750,244.5kg | | | | |
| | | ランク3 | -3 | 118,557.8kg | | | | |
| | 体細胞数 | ランク1 | 2 | 245,176,067.5kg | | | | |
| | | ランク2 | 1 | 29,958,521.1kg | | | | |
| | | ランク3 | -2 | 4,666,228.7kg | | | | |
| 合計 | | | | | 90.88 | 85.05 | 5.83 | |

9月分乳代支払単価

| 項目 | 単価(円)/(kg)% | |
|-----------|-------------|--------|
| 乳脂肪分① | 33円77銭 | |
| 無脂乳固形分② | 48円24銭 | |
| 補給金③ | 3円36銭 | |
| チーズ奨励金④ | 1円85銭 | |
| 脂肪率 | 全道 | 3.87% |
| | 農協 | 3.91% |
| 無脂固形分率 | 全道 | 8.75% |
| | 農協 | 8.70% |
| 成分乳価 | 全道 | 87円22銭 |
| ①+②+③+④=⑤ | 農協 | 87円24銭 |
| 乳質乳価⑥ | 全道 | 3円66銭 |
| | 農協 | 3円65銭 |
| 乳代合計 | 全道 | 90円88銭 |
| | 農協 | 90円89銭 |
| ⑤+⑥ | 差異 | 1銭 |

議案

1. 平成26年度下半期余裕金運用計画額及び運用方針について
2. 平成26年度半期ディスクロージャー誌による開示について
3. 平成26年度大家畜特別支援資金に係る条件緩和について
4. 農協資金(農地取得貸付)の要項の一部変更について
5. 営農資金の貸付について
6. 平成26年度営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
7. 中山間事業に係る資金の貸付について
8. 平成27年度営農基本方針(案)について

報告事項

1. 平成26年度9月末定期監査報告について
2. 固定資産の実査について
3. 平成26年度9月末財務状況について
4. 平成26年度9月末購買事業実績について
5. 平成26年度9月末購買品棚卸結果について
6. 平成26年度9月末基準決算見通しについて
7. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
8. 平成26年度上期経営点検結果報告について
9. 平成26年度JA共済コンプライアンス点検結果について
10. 平成26年度一日皆貯金の実績について
11. 平成26年JAバンク北海道年末特別推進運動「北海道のおいしさドーン貯冬のキャンペーン」の実施について
12. 貸付金金利並びにクミカン貸越金利の改定について
13. 平成26年度9月末営農生産関連実績について
14. 第31回「菊と緑の会inべつかい」実施結果について
15. 第16回北海道総合畜産共進会終了について

協議事項

1. 第3回農事組合長会議について
2. 地区別組合員懇談会について

**1日皆貯金 54,319千円達成!!**

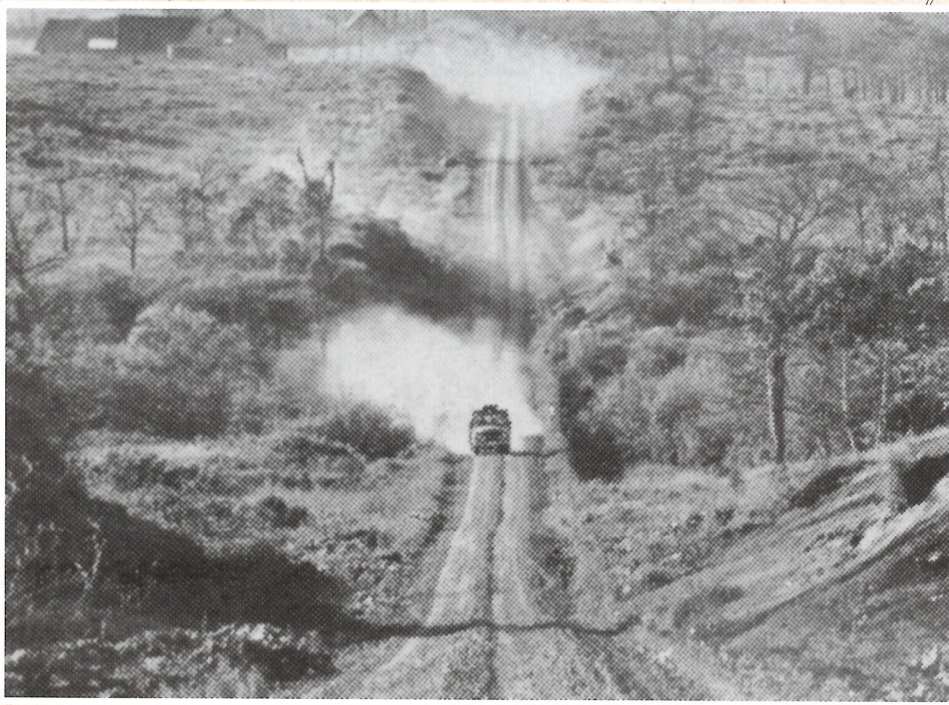
皆様のご協力ありがとうございました。

10月9～10日にかけて行われました1日皆貯金の集計結果について、以下の通りとなりました。

目標額50,000千円 実績54,319千円(234件)

目標金額を上回ることができました。お忙しい中皆様のご協力ありがとうございました。

懐かしきあの頃。。。 そして今。



当時の道は整備はされなく、そろばん道路と良くいわれていました

今月は「昔の道路」に注目したいと思います。現在の道路と言えば、アスファルトで平に整備された道路を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。

しかし昔の中春別は、道路のほとんどは砂利道で車やバイクといった車両が走ると土ぼこりが上がって、晴れた日には道路周辺に白くもやが出来きるほど酷く、前が見えず走行に支障が出るほど酷かったそうです。

大雨が降ったに日は、水はけが悪いので大きな水溜りがあちこちに出来たり、川の近くは溢れた川の水で通れなかったりと、当時の道路は天候に影響を受けることが多かったものでどこに行くにも大変だったと教えてくれました。



どこまでも続く一本道のミルクロード

編集後記

▼緑鮮やかだった木々の葉もすっかり落ち、枯れ葉が舞い、朝、晩と暖が恋しくなる時期となりました。冬支度に備え漬物をつけたり、夏物から冬物の服を入れ替えたりと、皆様も忙しい毎日を送られているのではないのでしょうか。

夏の暑さから冷え込むのが早かっただけに、今年の冬は暖冬か厳冬になるか気になるところです。

▼さて、今月号では学芸会や収穫祭を取り上げ掲載いたしました。学芸会では、日頃練習した成果を十分に発揮し、緊張しながらものびのびとした子供達の姿を取材させていただきました。

今回の取材で、何年か前までお母さんに抱っこされて買い物に来ていた男の子が、ステージで堂々と話している姿を見て、子供の成長の早さを感じました。

▼今年も残すところ2カ月程となりました。これからの長い冬に備えて健康には十分注意してお過ごし下さい。

アドレス <http://www.ja-nks.jp>